

# 公共施設の乱暴な削減ストップ！

## 市民に痛みを押しつける **安倍政権** に厳しい審判を！ **自民、公明**

日本共産党

井上  
たかし

45歳



党青梅市政策委員長・市議予定候補

青梅でも安倍政権の施設削減の押しつけが…

安倍政権は「地方創生」と言いながら、身近な公共施設の乱暴な切り捨てを地方自治体に押しつけています。青梅市はその言いなりに、市民の身近な公共施設を40年間で30%も削減する計画を立て、市議会の与党が後押ししています。

釜の淵市民館、永山ふれあいセンター  
高齢者センター！入浴施設の復活を！

子育て、健康づくり、文化の拠点  
身近な場所に必要です

5月に閉鎖の釜の淵市民館、永山ふれあいセンター、3月に閉鎖の高齢者センター（東青梅）、保健福祉センター入浴施設（小曾木・沢井）は、多くの市民が利用していた施設で、しかもまだ使える施設です。市民の声で、復活させましょう。

また、新市民ホールの建設にもなって閉鎖される予定の子育て支援センター（はぐはぐ）、東青梅市民センター（移転）は、現地での存続が必要です。

演奏も演劇もできない

困ります 新市民ホール計画

市役所近くに建設予定の新市民ホールは、「コスト削減を理由に座席が「平土間式」で、音楽演奏や合唱、演劇に必要な設備を設置しない計画です。これまで施設を利用してきた市民団体などから「使えない」「利用者の意見をもっと聞いてほしい」と声があがっています。市はこの声にきちんと耳を傾け、計画を検討するべきです。

市民に冷たい 市政を後押し **自民** **公明**

高齢者センター存続署名に  
「効率的ではない施設（自民）」

平土間式新市民ホール構想は  
「大いに評価（公明）」

農地の物流センター大型開発計画は  
「早期実現を（自民）」

国民民主などで作る改革フォーラムも市議会では自民、公明と同じ立場です。市政でも反自公の立場でこそ、市民の願いに寄り添えるのではないのでしょうか。

消費税10%増税  
ストップ

社会保障の財源というのなら

優遇されてきた

●大企業の法人税率を中小企業並みに ↓ 4兆円 税収増

●欧米基準にするだけで税収増に

●大株主優遇税制の是正 ↓ 1.2兆円 税収増

これだけで消費税を増税しなくても財源はできます

外交を中心に据え

軍事費は削減を

くらしや教育にもっと税金を



147機 F35 戦闘機 1機で 116 億円 (F35A)



17機 オスプレイ 1機で 100 億円

7月 参議院

私たちもがんばります



参議院議員(東京) 吉良よし子



参議院議員(比例) 小池あきら

日本共産党青梅市委員会は、上記の見解を発表しました。

青梅民報

4月号外

2019年4月1日発行  
発行責任者 齊藤 光次  
青梅市野上町 1-54-1

お問い合わせは  
090-8489-5260

1日もはやく

# 学校トイレ改修工事を

## 改修計画を先のばし

青梅市の小中学校は築30～50年以上たち(第2小以外)、トイレが古くなっています。市は、順次改修する計画(洋式化含む)を立て、一時は「2020年度までに」としていました。しかし計画は徐々に伸び、今では「2025年度までに」となっていました。

子どもたちのトイレ改修計画は先延ばしせず、1日もはやく終わらせるようにしましょう。

### 改修済みの学校

第1小、第3小、第5小、成木小、第3中

### 今年度予定の学校

第4小、新町小、第2中、霞台中

### まだ計画されていない学校

小学校:第6、第7、河辺、霞台、友田、今井、若草、藤橋、吹上

中学校:第1、西、第6、第7、吹上、新町、泉



## 2人の息子、子育て真っ最中!

党青梅市政務委員長・市議予定候補

**日本共産党**

**井上たかし**

**オスプレイの  
配備撤回を!  
憲法9条守り  
ぬきます!**



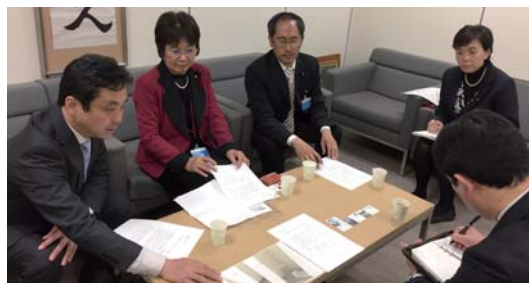
市内小学校の老朽化したトイレ

**トイレ改善  
効果は絶大!**

文科省の資料※では、トイレ改修によってトイレを我慢をする子が86%も減少したり、トイレにまつわるいたずらやからかいも大幅に減少したことが報告されています。また、感染症のリスクを抑える効果も大きいとしています。

※文部科学省「トイレ改修による教育環境向上の効果」

## 東京都は支援強化を



日本共産党青梅市議団として、東京都に対して青梅市の学校トイレの現状を伝え、都の支援策の強化を求めました。

要請に対し、都としても国の補助基準では不足する部分(工事単価)について、2019年度は都の補助を上乗せしたいとの回答がありました。

# よいところは 近くの町を見習って 安心して住み続けられる青梅に

● **コミュニティバス実現を**

市民の足の確保は市の大事な仕事です。坂が多く広い青梅市だからこそ、実現させましょう。

● **児童館を青梅にも!**

児童虐待やいじめなど、子育て問題の解決のためにも安心して遊べ、相談できる場をつくりましょう。多摩26市で児童館がないのは青梅市だけです。

● **国民健康保険税の  
大幅引き下げを**

あまりにも高い国民健康保険税を引き下げましょう。全国の知事も国に「国費の投入で協会けんぽ並みに値下げを」と求めています。



夫の介護もあり、車に乗れなくなったらどうなるのか、本当に不安です。息子は「早く運転はやめた方がいい」と言いますが…(80代女性)

● **あきる野市では軽減制度がスタート**

青梅市では、例えば月収30万円の4人家族(40代両親と子ども2人)で、保険税は年約35万円と、1か月の収入以上です。国保は赤ちゃんまで重い負担となるため、あきる野市では、第2子以降は半額にする制度(均等割り部分)が新年度から始まります。青梅市も国や都に対して値下げを求めるとともに、市独自の軽減策を講じるべきです。

みなさんと力をあわせ

**実現できました!**

## 学童クラブの増設

常に待機児が多い学童クラブについて繰り返し議会で定員増と充実を求めてきました。現在では、33クラブ、定数1465名と、30年前の約2倍になりました。

さらなる定員増と、専用施設の整備など充実をめざします。

## 小中学生の通学費補助

日本共産党は30年にわたって、「義務教育期間の交通費は市が負担を」と公共交通の通学費の補助を求めてきましたが、ついに中学生までの全額補助が実現しました! 今後は、自転車通学への補助実施をめざします。